



第1学期終業式を行いました

例年より早い夏休み開けの8月17日から、暑さに負けずに落ち着いて教室での授業に参加し、校外学習や外部講師を招いての学習などにも取り組んできました。

本日をもって1学期の授業を終了します。秋季休業をはさんで、10月13日(火)から2学期の授業を始めます。今日は、校内テレビ放送を通して終業式を行いました。

終業式の講話では、中央小伝統の10分間の「無言清掃」に集中するすばらしさと、感染症などへの差別・偏見を絶対にしない思いやりの気持ちについて話しました。



アサガオのリースづくり(1年生)

終業式(TV放送)での講話

新型コロナ対策で制限のある中、みなさんも感染症予防をきちんと行ってくれたおかげで、学校の授業や地域の方との交流による学習を進めることができました。

今日は1学期の最終日です。担任の先生から通知表を受け取りましたか。通知表には、1学期に学習したことや学級で活動した成果、これからさらに伸びてほしいことが記号や数字、そして文章で書かれています。がんばったことなどをお家の人と一緒にしっかり見てください。そしてそれを2学期のがんばりにつなげてほしいです。

さて、校長先生がいつも感心していることがあります。それは毎日の昼休みの後のことです。昼休みには校長先生はよくグラウンドで皆さんの様子を見ていますが、先週の様子を撮影してみました。

(昼休み終わりからの動画を再生→)昼休みの終わりを告げるチャイムです。どうですか?みんな一斉に校舎の中へ入ります。だれ1人としてグラグラと遊ばず、素早く次の行動をしている姿がありますね。そしてそれぞれのそうじ場所へ行き、中央小伝統の『無言清掃』が始まります。

(そうじの様子の動画→)このように教室でも階段でもトイレや手洗い場でも、10分間ずっと声を出すことなく、黙々と自分の担当場所を拭いています。教室の机を運ぶときも、高学年が机、低学年が机を持って連係プレーができていて感心します。

中央小のそうじは本当にすばらしいです。これからも続けていきましょう。

もう1つ大事なお話です。夏休み開けのテレビ放送でお話しした、感染症への差別をなくすことについてです。新型コロナも、風邪やインフルエンザのようにだれでもかかることのある感染症で、かかった人が悪い人なのではないこと、思いやりの気持ちを持って接してほしいことについてお話ししましたね。その後みなさんの気持ちや行動はどうでしたか。

感染症が怖いのはみんな同じです。病院などに勤める人や感染症にかかった人はすごく怖い思い、とっても悲しい思いをしています。その人たちを責めたり嫌がったりするのは大きな間違いです。そのような間違いをする中央っ子はだれもいないと校長先生は信じています。体と体は距離をおいても、心と心は近くありたいですね。

思いやりと笑顔で、心と心がつながる中央小をめざしましょう!

10/1 校外学習(3年生) ～敦賀のすてきなところ～

昆布館で特産品の昆布について学び、氣比神宮では観光ボランティアガイドさんの説明をお聞きしました。午後は新幹線の敦賀駅高架橋や建設中のトンネルの中を見学させていただきました。



昆布館にて



深山トンネル

10/5 福祉の学習(4年生) ～手話の遊津貞美子先生・点訳サークル「らいと」の皆さん～

4年生は福祉の学習を始めています。9月24日には校外学習で車いすや高齢者の体験をしましたが、この日は講師の先生に来ていただいて手話と点字の体験をしました。



手話の学習



点字の体験

PTA奉仕作業 ありがとうございました

10月4日(日)に奉仕作業をしていただきました。コロナ禍で大人の手だけに規模を縮小しましたが、PTAの役員さんや委員さんをはじめ、多くの方にご参加いただきました。

雑草がなくなって広がったグラウンドで、中央オリンピックが気持ちよく開催できます。ありがとうございました。



すごいぞ中央っ子

10月7日(水)の長い昼休みを利用して、5年生が全員でグラウンドの草むしりをしてくれました。中央オリンピックの応援練習は6年生にリードしてもらっていますが、5年生も自分たちで何かしようと考え、奉仕の精神で高学年らしい取組をしてくれました。PTAの奉仕作業に続いてより一層グラウンドがきれいになりました。5年生の皆さん、ありがとう!

